

人権に関する市民意識調査 報告書

京都市

平成 26 年3月

は じ め に

本市では、これまでから人権にかかわる施策を常に市政の最重要の柱として位置付けるとともに、人権施策をより総合的、効果的に推進するため、平成17年度に策定した「京都市人権文化推進計画」（計画期間 平成26年度まで）に基づき、一人ひとりが個人として厚く尊重される社会の実現に向けた取組を積極的に推進してきました。

しかしながら、社会構造の変化や厳しい経済情勢の中で、人権課題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障害のある人、同和問題、外国人・外国籍市民などの問題に加え、インターネットによる人権侵害や、働く人の人権など、新たな問題が生じています。

このような中で、平成27年度を初年度とする次期計画の策定に向けて、今後の人権施策の推進に当たっての基礎資料を得るため、「人権に関する市民意識調査」を実施しました。今回の調査は、平成17年度に実施した意識調査を引き継ぐものですが、より市民の方が日常生活場面で感じておられる意識を知ることができるよう、新たな質問構成となっております。

この報告書が、市民の皆様や関係機関をはじめ、多くの方々に活用され、市民一人ひとりの手による「人権文化の息づくまち・京都」の実現の一助になればと願っております。

この調査の実施に当たりまして、貴重な御助言をいただきました京都市人権文化推進懇話会の委員の皆様をはじめ、調査に御協力いただきました市民の皆様方に対し、心から厚く御礼を申し上げます。

平成26年3月

京都市文化市民局人権文化推進課

目 次

I 調査結果

1 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査の精度	1
(4) 報告書の見方	1
2 調査結果概要	3
(1) 回答者属性	3
(2) 人権についての意識	5
(3) 人権教育・啓発	7
(4) 人権保障	10
(5) 人権相談・救済	13
3 質問項目別調査結果	15
(1) 人権意識と教育・啓発について	15
問1 人権についての意識	15
問2 人権課題への関心	17
問3 人権についての催しへの参加回数・市民しんぶん等の記事への関心	19
問4 人権についての理解を深めるために役に立った取組等	24
問5 人権についての理解を深めるため必要な取組	26
(2) 日常の場面での人権意識について	28
問6 結婚相手を考える際に気になること	28
問7 住宅を選ぶ際に気になること	29
問8 就職における場面での人権意識	31
問9 家庭での生活場面での人権意識	33
問10 学校における場面での人権意識	35
問11 職場における場面での人権意識	37
問12 社会での生活場面での人権意識	39
(3) 現代社会における新たな問題について	41
問13 ホームレスの人権	41
問14 インターネットに関する問題	43
問15 犯罪被害者に関する問題	45

(4) 人権侵害と相談・救済について	47
問 16 自身の人権侵害について	47
問 17 人権侵害の内容, 相談先, 相談先の評価	48
問 18 人権を守るための制度の認知度	55
問 19 人権侵害に対する相談や救済に必要と思う事項	59

II 集計表

1 回答者属性	61
2 各設問クロス集計	64
(1) 人権意識と教育・啓発について	64
(2) 日常の場面での人権意識について	96
(3) 現代社会における新たな問題について	131
(4) 人権侵害と相談・救済について	143
3 調査票	156